

:: 指定管理者制度導入施設 モニタリング・シート ::

評価年月日: 平成30年7月27日

1 基本事項	
公の施設の名称	相模原市立青根緑の休暇村いやしの湯
指定管理者の名称	一般社団法人 青根振興協議会
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
施設設置条例の名称	相模原市立青根緑の休暇村いやしの湯条例
施設の設置目的	温泉資源の活用による市民の福祉の向上及び健康の増進を図り、市民のふれあいと交流を促進し、もって地域の活性化に寄与する。
施設概要	所在地: 緑区青根844番地 開館年度: 平成17年5月2日 管理面積: 4,187.73㎡ 延床面積: 999.875㎡ 構造: 鉄筋コンクリート造平屋建 主な施設: 大浴場(2)、サウナ(2)、脱衣所(2)、ロビー、大広間、個室(2)、厨房、トイレ(5)
施設所管課の名称	環境経済局 経済部 津久井地域経済課

2 管理実績							
項目(単位)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
利用者数合計(人)	109,848	97,441	106,195	101,068	99,937		
利用料金合計(円)	123,767,209	112,948,853	127,157,940	118,053,225	118,127,718		
()							
()							
()							
()							

3 成果指標の達成度	
指標名(単位)	施設の利用者数の増加(対象施設: 入浴施設)
指標式と指標の説明	施設の年間利用者数/12ヶ月 単位: 人 目標件数は平成22年度と平成24年度の2年間の利用者数(1ヶ月当り)の平均値15%増とする。

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
目標値(単位)	10,837	10,084	10,084	10,084	10,084	10,084	
実績値(単位)	9,154	9,744	8,849	8,422	8,328		
達成度(%)	84.5%	96.6%	87.8%	83.5%	82.6%	0.0%	

施設の設置目的や施策の達成度を客観的に評価するため、指定管理者の募集において示した成果指標。

4 評価		
指標名(単位)	評価	コメント
施設の設置目的の達成度	C	平成29年度は、固定客の高齢化による減少傾向に加えて週末に悪天候が多かったことが、減少の要因との報告であった。 当施設は夏の利用者の比率が高いため、年間を通じた安定的な利用者の獲得に力を入れていただきたい。
事業・業務の履行状況	A	年間事業計画に沿って施設・設備管理、人員配置、危機管理、個人情報など管理運営が確実に遂行されている。 利用者の増加が図られたイベントもあり、今後も継続した集客増加の工夫をお願いする。
利用者満足度の向上度	A	利用者満足度調査では、アンケート回答者では、普通以上の回答を95%の方から得ており、そのうち「満足」が53%、「やや満足」が25%で好評を得ており、前年度から満足度も向上した。
財務状況の適正性	B	利用者の減少が収入額に影響している。 支出の節約、利用料金の増収の方策を考えて、経営の安定化を図っていただきたい。

【施設の設置目的の達成度】の評価基準

モニタリングシート(3 成果指標の達成度)における“達成度”の内容について、次の基準により評価する。

- S: 当該年度の達成度が110%以上
- A: 当該年度の達成度が100%以上110%未満
- B: 当該年度の達成度が90%以上100%未満
- C: 当該年度の達成度が80%以上90%未満
- D: 当該年度の達成度が80%未満

【事業・業務の履行状況】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式1)における“評価”の内容について、次の基準により評価する。

- S: 全ての評価項目に「 」または「 」がつき、「 」の数が評価項目の総数の3分の2以上である。
- A: 全ての評価項目に「 」または「 」つき、「 」の数が評価項目の総数の3分の2未満である。
- B: 全ての評価項目が「 」である。
- C: 「 」と「 」のどちらもつかない項目が1つある。
- D: 「 」と「 」のどちらもつかない項目が2以上ある。

【利用者満足度の向上度】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式2)における“達成度”の内容について、次の基準により評価する。

- S: 当該年度の達成度が110%以上
- A: 当該年度の達成度が100%以上110%未満
- B: 当該年度の達成度が90%以上100%未満
- C: 当該年度の達成度が80%以上90%未満
- D: 当該年度の達成度が80%未満

【財務状況の適正性】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式3)における“3 指定管理者の団体本体の経営状況”の内容について、次の基準により評価する。

- S: 評価対象年度の決算において、収入が支出を上回っており、かつ選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
 - A: 評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っておらず(収支が一致している。予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
 - B: 評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っているが(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
 - C: 評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行っている(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、または選考委員会による意見として本体の経営状況に「若干の懸念がある」とされた場合
 - D: 評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行って(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「重大な懸念がある」とされた場合
- 「財務状況の適正性」の項目については、グループ全体としての評価とする。(複数の施設をグルーピングしている場合のみ)

客観的評価として以上の基準によりS～Dを判定し、選考委員会の意見を踏まえて調整することも可能とする。

5 施設所管課による総合評価

コメント	<p>年々減少する利用者の集客対策が必要であり、ホームページのリニューアルや市制記念日のイベントは、一定の効果があげられていると思われる。ただ、今後については、ホームページの更新を頻繁に行うなど情報提供に力を入れること。また、新たな集客策を企画し、一歩進んだ運営を図りたい。</p> <p>施設運営面では、故障箇所等が発生し、指定管理者が対応している部分もある。連携をはかり、優先箇所を決めるなど、合理的な改善に努めたい。</p>
------	---

6 指定管理者選考委員会による評価

評価実施日	平成30年2月19日(月)
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・リピーターが高齢化していく中で、キャンペーンやイベントでの無料券などの配布により、新たな客層を取り込むことに取り組んでいただきたい。 ・利用者のニーズは絶え間ないので、可能な範囲で善処していただきたい。 ・施設の改善点などは、工夫して取り組んでいただきたい。